

(様式1)

令和4年度 学校運営協議会自己評価表

浜松市立（ 富塚小 ）学校運営協議会長

＜評価項目1＞ 学校運営の基本方針について熟議することができたか。

- ・校長から学校運営の基本方針について丁寧な説明があり、理解することができた。また、キャリア教育について詳しい説明を聞くことができた。そのため、熟議するにあたり、十分に理解した上で貴重な意見交換ができた。立場の異なる皆さんからいろいろな意見が出たことにより、幅広く熟議を進めることができた。
- ・基本方針や子供たちの様子が良く分かり、いろいろな用語についても知るようになった。グループワークにより、委員の考え方や意見を聞く機会が増えて信頼関係も深められた。
- ・毎回の学校運営協議会の中で先生方からの報告発表から基本方針に沿った姿勢がうかがえたため、熟議に生かすことができた。

＜評価項目2＞ 学校運営に資する活動について熟議を進めることができたか。

- ・グループワークをすることで、より活発な意見が出た。
- ・全国学力調査では、昨年に引き続き自己理解・自己肯定が高い傾向がうかがえ、将来に向けたキャリア教育の成果だと思った。キャリア教育について、熟議したよいアイデアや意見を地域・保護者と共有することが、教育活動の質の向上につながると感じた。
- ・コロナ禍でも工夫された学校行事を参観できる機会があり、子供たちの様子も見られて地域としての協力の仕方が分かってきた。熟議をして、今後それぞれの役割分担を意識し、協力して動きたい。
- ・コロナ禍により、今まで当たり前だと思っていたことが実は当たり前ではないと気付いた。この「気付く」ということで関わり方が変わってくると思った。それぞれの立場に合った関わり方ができればよいと思い、熟議を進めることができた。

＜評価項目3＞ 今年度の取組の評価を踏まえた来年度の目標（取組の重点）

- ・学校、家庭、地域で子供たちを見守り育てていくことが大切である。それぞれの役割を大切に、家庭や地域にも多くの意見を求める必要があると思う。よいアイデアや意見を地域や保護者に発信できるようにしたい。また、地域コミュニティといかに協働していくかについて議論していきたい。
- ・学校運営協議会では子供たちや学校の問題点を明確に示してもらい、保護者や学校や地域がどんな協力をして解決していくか協議していきたい。そのために、教育活動の様子を自分の目で見て、来年度の協議会で具体的な意見を出せるようにしたい。
- ・委員の皆さんと何が必要なのかを明確にし、行動したい。そのために現在掲げられているグランドデザインを明確にして議論したい。子供たちが「感じ、考え、行動」するようにたくさんのことを見て、聞いて欲しい、そしてたくさんのことを経験して欲しいと願っている。今も委員からは自由な意見が出ているため、来年度も建設的に会議に臨みたい。